

令和 7 年 度 モ ニ タ リ ン グ シ ー ト

【施設名等】

施 設 名	大洲市老人デイサービスセンター若宮	位 置	大洲市若宮 6 2 5 番地の 4
指定管理者名	社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会	所管課	高齢福祉課 Tel0893-24-1714

【施設の概要】

設 置 年 月 日	平成 7 年 1 1 月 1 日	構 造	鉄筋コンクリート造 地上 1 階建て
設 置 目 的	利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とする。		
施 設 機 能	高齢者福祉活動の拠点としての機能		
利 用 料 金 等	介護報酬の 1 割、2 割又は 3 割及び実費		
開 館 ・ 閉 館	開館 午前 8 時 3 0 分 閉館 午後 5 時 1 5 分		
指 定 管 理 業 務 内 容	介護保険サービス事業・総合事業（通所型サービス）		
施 設 管 理 体 制	常勤：管理者 1 名、看護師 1 名、介護員 1 名 非常勤：介護員 1 名、看護師 1 名、運転手 1 名、清掃員 1 名		

【施設利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月
R O 7 年度	185	228	242	236	233	272	255
R O 6 年度	160	172	155	180	178	187	199
比 較	25	56	87	56	55	85	56
	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計	
R O 7 年度	227	218	214	221	243	2, 774	
R O 6 年度	207	188	168	173	168	2, 135	
比 較	20	30	46	48	75	639	

【指定管理者としての収入・支出（決算）】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
経常経費補助金収入（愛媛県）	109, 950	人件費支出	22, 948, 384
経常経費補助金収入（大洲市）	92, 000	事業費支出	3, 272, 381
介護保険事業収入	25, 863, 561	事務費支出	510, 821
その他の収入		負担金支出	
積立資産取崩収入		固定資産取得支出	
		積立資産支出	106, 752
合 計	26, 065, 511	合 計	26, 838, 338

※ 指定管理料なし。

【サービス向上に向けた取り組み】

R O 7 年度	7 年度も、利用者家族との連絡を取り合い、援助を行う事ができたと思います。レクリエーション等も、利用者さんが喜んで、楽しくできるように工夫しながら行いました。利用者さんの身体状況も考えながら、できる事は見守り、できないことはどのようにしたらいいかなど、職員同士の話し合いも行いました。
R O 6 年度	6 年度も、昨年同様に、利用者家族・ケアマネとの連絡を取り合い、援助を行う事ができました。創作活動や外出行事（花見ドライブ等）、ボランティア来訪で、楽しい時間を過ごしていただきました。利用者の事故（ケガ）も再度起こらないように、職員同士で対策等の話し合いを何度も行いました。感染症対策では、消毒等は行っていたのですが、感染症胃腸炎者が出てしまいました。

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
座席が、テレビの前は、めまいがする・音がうるさいなどの苦情あり。座席の移動の声掛けをするが、それは嫌だといわれた。	入浴の順番を早くしてほしいとの要望あり。次回より希望通り、早めに入浴していただいた。

【指定管理者の自己検証】

1. 協定書や仕様書に基づき、当初の事業計画どおりに事業を実施する事ができた。 2. 大洲市と連携をとりながら、指定管理者として、利用者からの意見・要望に耳を傾け、事業所内で共有したうえで、回答・対応しながら施設の管理運営を行った。 3. 職員間で共有した「運営マニュアル」の点検を行った。 4. 安全管理については、マニュアルを活用した研修を実施し、また事故発生に対する検証や対策の確認を行った。 5. 指定管理者として、利用者一人一人の尊厳の保持、人権、権利擁護を基本とし、ケアプランに基づいて適切なサービスが提供できるような健全な施設運営を心がけた。 6. PR 活動等を含めた新規利用者の確保に向けた対策を講じた。 7. 本所と連携・協力しながら実績確認等を実施し、管理運営の効率化に努めた。

【施設所管課の検証・評価】

事業実施については、指定管理に関する基本協定書及び仕様書の内容を満たしている。 利用者のご家族との緊密な連絡調整を通じて、一体感を持った適切な支援が行われている。また、レクリエーションにおいても利用者が楽しく意欲的に参加できるよう工夫がみられる。さらに、利用者の身体状況を的確に把握した上で、「できることは見守り」という自立支援の視点を大切に、職員間で十分な話し合いを重ねながらケアの方法を検討・共有している。 令和 7 年度の年間利用者数が 2,774 人と、前年度より 639 人増加しており、引き続き、更なる利用者確保とサービスの向上を図っていただきたい。
--